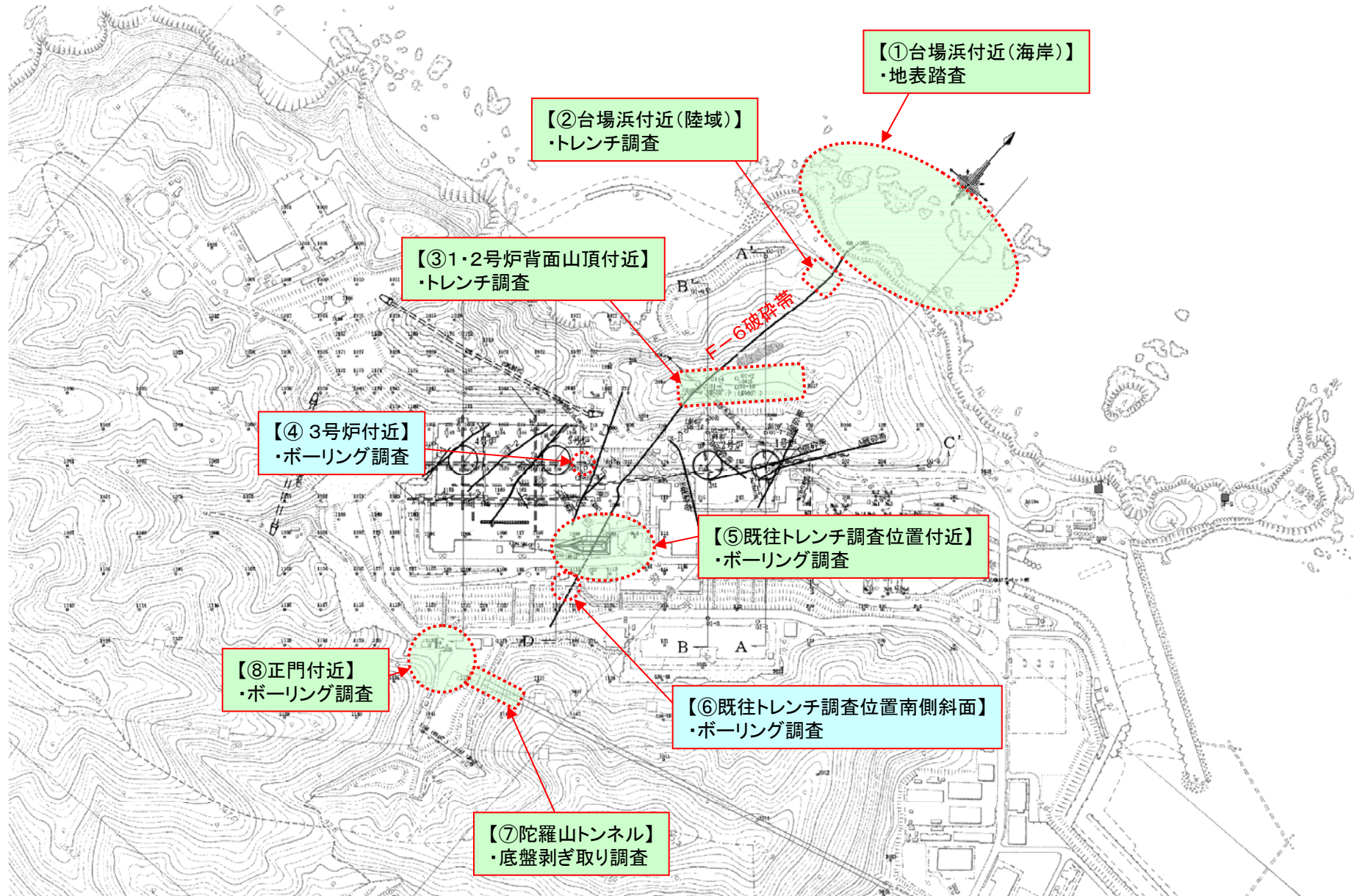
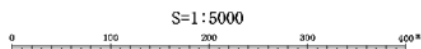


F-6破碎帯に関する追加調査計画位置図



※破碎帯はEL.3mの分布を表示



F-6 破砕帯に関する追加調査計画の概要

調査計画位置	調査項目	ポイント	調査内容
①台場浜付近(海岸)	地表踏査	連続性の評価	沖合いの岩礁及び海岸沿いの露頭における破砕帯の有無を確認。
②台場浜付近(陸域)	トレンチ調査	連続性・活動性の評価	F-6破砕帯による上載層への変位・変形の有無を確認し、上載層の年代測定を実施。 ブロックサンプリングによる変形組織の観察により活動性を評価。 追加の試料分析も実施予定。
③1・2号炉背面山頂付近	トレンチ調査	連続性・活動性の評価	ブロックサンプリングによる変形組織の観察により活動性を評価。 追加の試料分析も実施予定。
④3号炉付近	ボーリング調査	連続性・活動性の評価	ボーリングコアによる変形組織の観察により活動性を評価。 追加の試料分析も実施予定。
⑤既往トレンチ調査位置付近	ボーリング調査	連続性・活動性の評価	既往トレンチ調査実施箇所は構造物が設置されており、トレンチ調査壁面における破砕帯を直接観察することは不可能。 ボーリング調査により既往トレンチ調査実施箇所の深部延長部で試料を採取し、ボーリングコアによる変形組織の観察により活動性を評価。 追加の試料分析も実施予定。
⑥既往トレンチ調査位置南側斜面	ボーリング調査	連続性・活動性の評価	ボーリングコアによる変形組織の観察により活動性を評価。 追加の試料分析も実施予定。
	群列ボーリング調査	連続性・活動性の評価	⑥ボーリング調査によりF-6破砕帯が認められた場合に実施し、上載層への変位・変形の有無を確認し、年代測定を実施。
⑦陀羅山トンネル	底盤剥ぎ取り調査	連続性・活動性の評価	破砕帯の有無を確認。破砕帯が認められた場合はブロックサンプリングによる変形組織の観察により活動性を評価し、追加の試料分析も実施予定。
⑧正門付近	ボーリング調査	連続性・活動性の評価	破砕帯の有無を確認。破砕帯が認められた場合はボーリングコアによる変形組織の観察により活動性を評価し、追加の試料分析も実施予定。

※調査内容は、調査の状況によって変更となる場合がある。

F-6破砕帯に関する追加調査工程

調査計画位置	調査項目	平成24年				
		8月	9月	10月	11月	12月
意見聴取会報告	— 計画承認			中間報告		最終報告
準備(許認可含む)	—	■				
①台場浜付近(海岸)	地表踏査	■	■			
②台場浜付近(陸域)	トレンチ調査	■	■	■		
③1・2号炉背面山頂付近	トレンチ調査		■	■		
④ 3号炉付近	ボーリング調査		■	■	■	■
⑤既往トレンチ調査位置付近	ボーリング調査		■	■	■	
⑥既往トレンチ調査位置南側斜面	ボーリング調査		■	■	■	
	群列ボーリング調査			■	■	
⑦陀羅山トンネル	底盤剥ぎ取り調査			■	■	
⑧正門付近	ボーリング調査		■	■	■	■
総合評価	—					■

□ 準備 ■ 調査 ■ 分析・評価

※「地震・津波に関する意見聴取会(第20回、H24.7.31)」を踏まえて追加調査工程を見直し。
 ※H24.8.6より①台場浜付近(海岸)の地表踏査、②台場浜付近(陸域)のトレンチ調査の準備作業に着手。
 ※調査内容、工程は、調査の状況によって変更となる場合がある。更なる工程短縮について、継続して検討していく。